



令和3年度 小谷小学校グランドデザイン

【目指す子ども像】 自らを生かそうとする子ども

協働の学び

協働の学び方「わからないときは自分から動く」「友だちの考えを聴く」「なるほど！とわかるまで考える」で授業を創ります。

小谷っ子タイムや小谷っ子そうじ、なかよし班音楽&運動、児童会活動や運動会等の行事で縦割り活動を多く取り入れて、子どもたちの関係性を深めます。

「聴く（観る）、つなぐ、もどす」支援を軸にした対話的な授業を行って、「知識・理解」「思考・判断・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を育みます。

重点1 授業づくり

保小中12カ年の目指す姿を共有し、思考力・判断力・表現力が向上する授業改善を図る

重点2 集団づくり

縦割り班や連学年を軸にした行事や集会等の活動を通して、互いを認め、支え、高め合える人間関係づくりを図る

塩の道遠足やスキー教室、小谷っ子タイム等の体験活動を通して、小谷の自然や文化にふれ、地域の人々とかかわっていきます。

一部教科担任制、体育や音楽等の連学年合同授業、生活や総合、行事等との教科横断的な授業を行って、全ての教職員で子どもたちを指導・支援します。

児童理解 子どもの個性・特性の理解に努め、個に応じた指導・支援の充実

おたり学校園運営委員会コーディネーターを軸にして、地域人材を活用したふるさと学習を通して、おたり愛を育みます。

全ての教職員が、子どもを受容し、愛語を発信して学びの可能性を拓けるように、個人課題研修・共通研修・マネジメント研修を行います。

保小中一貫型教育を目指して、おたり学校園運営委員会を基盤とした信州型コミュニティスクールづくりを進めます。

<教育課題> 伝え合い、聴き合い、学び合う（協働の学び）

<学校教育目標> 「一人一人がいきいき輝く小谷っ子」

<教育理念> 「自他を認め、協働しながら自分を生かす力を育む学校づくり」



たりたり OTARI